



鞆の浦学園だより

いのち、輝く！
No Child Left Behind
No.15
2020年（令和2年）11月16日

義務教育学校から考える“10年後の学校”

～表現豊かな子ども達、心優しき子ども達・・・～

今朝、次期学園会に立候補した子ども達が各学級を回り、公約を説明していました。緊張がただよう中、自分の考えをなんとか伝えようとしており、また聞いている学級の一人一人も真剣でした。成長の姿を感じました。

先週の金曜日、うれしいことがありました。本校で公開研究会を行い、他校から30名以上の先生方が来られました。他校の先生と話がしたい子ども達が各学年数名ずつ参加し、授業後に体育館で日頃の「学び」を話し合いました。

その時、子ども達の姿に圧倒されました。他校の先生の感想です。

- ・鞆の浦学園で学んでいることをたくさん教えてもらい、うれしかったです！楽しかったです！みんな夢中になって考えている姿がいいなと思いました。
- ・とても分かりやすく説明をしてくれてありがとう。話し上手で話す力がとても付いているなと感じました。
- ・「学び」を詳しく教えてくれました。どんなことに興味があって、どんなふうに学んでいるかが、とてもよく分かりました。
- ・鞆の浦が大好き！伝えたい！知ってほしい！という思いがすごく伝わってきました。勉強の様子もよく分かりました。ありがとう。



授業後の「トモトーク！」

さらに、うれしいことが続きます。当日来られていた三好教育長が、福山市教育委員会に届いたファックスをその場で紹介されました。こうした姿は、言われて出来ることではありませんが、おそらく日常生活の様々な場面で繰り返し広げられているのではないかと考えています。常日頃から、保護者や地域の方々が一生涯懸命に関り、育ててきている結果であると確信します。



ラブレターを書こう (5年・8年)



電池をつくろう (5年・8年)



資本金を集めよう (5年・8年)

～自分で「決める・選ぶ・考える」学びを通して～



鞆の海の「けてき」を伝えよう！(特別支援学級)



鞆プロボノメンバーとの学び (4年鞆学)



プログラミングを活用した冊作り (9年技術)

三好教育長さんが紹介された福山市教育委員会に届いた1通のFAX

鞆の浦学園様

先月末、友人2人と鞆の浦観光をしました。歴史民俗資料館への道を地図を広げて探していましたら、元気のよい下校途中の男子生徒さんが、「何かお役に立てますか」と声をかけてくれたのです。そして目的地まで近道を案内してもらいました。名札を見ると「3年1組、清水あたり」君とありました。知らない所での親切が嬉しく、また小学3年生がそんな言葉をかけられるということにも本当に驚きました。鞆の浦学園のご指導がとても行き届いているのだと感心した次第です。どうぞ、清水あたり君に、ありがとうございますとお伝えください。鞆の浦がとても好きになりました。また、折があれば訪ねてみたいと思います。

(広島市安佐北区在住の方からのFAX)

会場から大きな拍手が
わきおこりました！！

